

# 電気化学測定方法による研究機関向けバイオセンサの製造・販売事業(北斗科学産業株)

平成18年10月20日認定

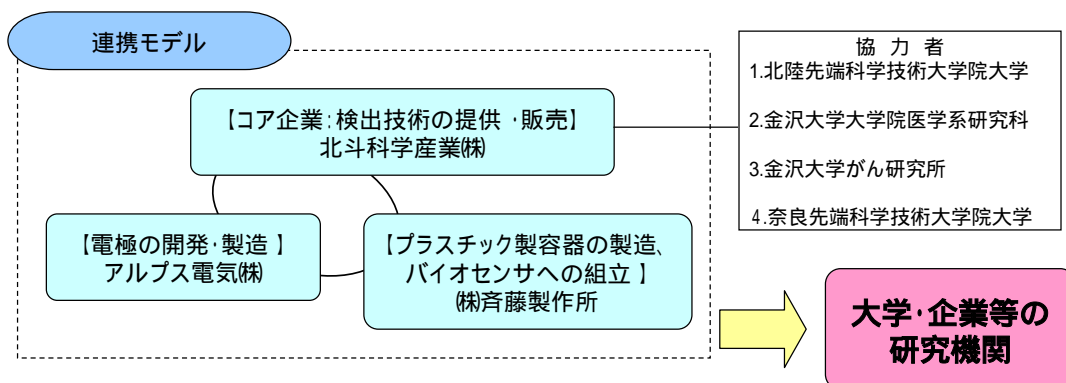
## 事業概要

・ウィルスや細菌等の存在を確認し特定するため、そのDNAを電気化学測定方法で同定するバイオセンサを製造し、大学・企業等の研究機関向けに販売する。

### 事業の特徴

その他の測定法に比較して、安価・簡便性などの特徴がある新技術(特許取得済み)を使用した商品

研究機関向けの販売に特化することで、市場展開の効率化を図った



## 組成の革新性

- ・1997年頃からDNAセンサー分野の開発を続けてきたコア企業が保有する電気化学的検出技術と、樹脂の成型加工技術による容器状デバイス(スティック)やセル状部品の製造を担う企業、電極製造技術を有する企業との連携体。
- ・コア企業は従来大学等の研究機関との協力関係が濃厚であり、過去の共同開発による実績と重ねるとともに既存チャンネルを生かした販売も担う。



(電気化学測定用セルと電極を組み合わせたバイオセンサ)



(密閉型スティックと電極を組み合わせたバイオセンサ)  
(形状等の検証を経て販売予定)

## ビジネスモデルの革新性

- ・医療や食品業界をはじめ、大学・企業の各種研究機関では特定のウィルスや細菌のDNAを迅速、安全、容易に検出することに対するニーズは潜在的に大きなものがある。当該製品の検出方法には技術の専門性を問わないことから測定簡便さが際立っている。
- ・食品業界の研究機関に対して、細菌等の有無を迅速に特定することにより、出荷検査の滞留を抑制することが可能である。
- ・研究開発機関を主要ターゲットして絞り込むことにより、先鋭的かつ効率的な販売戦略の構築が可能である。

## 事業の実現性

- ・遺伝子に関係する研究機関として大学、国公立系、企業系研究機関数は1,000件以上であると推計される。
- ・そのほか食品に関する研究機関、電子事業系研究機関も遺伝子測定、微生物、不快物質の測定などに努めていることからそこにニーズが認められる。